

経済学研究科

学位プログラム： 経営学系

授与する学位： 修士（経営学）、修士（経済学）、博士（経営学）、博士（経済学）

教育目標

大阪大学および経済学研究科の教育目標を受け、学位プログラム「経営学系」は以下のとおり教育目標を定めています。

学位プログラム「経営学系」では、複雑化・グローバル化したビジネス世界の中で、研究者や専門職業人として、国際的に活躍できる人材を育成します。個別教員の徹底した指導の下、最先端かつ高度な経営学系の知識とスキルを習得すること、専門知識を実践に応用する上で必要とされる人間社会や自然界に関する幅広い教養を身につけること、未解決の問題に対して糸口を見つけ、解決までの道筋を自らのアイデアで作りに上げていくデザイン力を身につけることをめざします。

博士前期課程は、経営研究コースおよびビジネスコースからなり、経営学、会計学、経営科学、マーケティング、ファイナンスなどの研究分野につき、最先端の研究成果をもとに、研究者の養成とともに、企業の企画・調査部門などで活躍する高度な専門的知識をもった職業人の養成をめざします。またビジネスコースでは、工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻と連携したカリキュラムも提供し、技術の知識をもった経営者および経営の知識をもった技術者の養成もめざします。

博士後期課程では、博士前期課程で身につけた知識と思考力をさらに高めるために、教員の指導のもとに専門論文を作成し、学会などで研究発表し、最終的には博士論文を完成します。世界に通用する研究者の養成を主な目的としますが、それぞれの専門分野で指導的な立場となれる高度な職業人の育成もめざします。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

世界に通用する最先端の経営学を体系的に習得することをめざします。

○高度な教養

専門知識を実践に応用する上で必要とされる人間社会や自然界に関する幅広い教養を身につけることをめざします。

○高度な国際性

グローバル化の時代に対応できるよう、いくつかの科目は英語で行われ、外国人留学生との交流の場や交換留学制度などを用意し、それにより国際性を養い、グローバル化する経済の中で、リーダーシップを発揮して世界各地で活躍できるような能力・人材の育成をめざします。

○**高度なデザイン力**

未解決の問題に対して糸口を見つけ、解決までの道筋を自らのアイデアで作りに上げていくデザイン力を身につけることをめざします。

○**独自の教育目標**

日本や世界で生起するさまざまな経済・社会現象に関する法則を理論的、実証的、歴史的にとらえることのできる人材の育成をめざします。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学および経済学研究科のディプロマ・ポリシーを受け、学位プログラム「経営学系」では、博士前期課程教育を通じて所定の基準を満たす学生に、修得した専門分野に応じて、修士（経営学）または修士（経済学）の学位を授けます。

また、博士後期課程教育を通じて、所定の基準を満たす能力をさらに高めることができた認められる学生、または同等の学力を確認することができた者に対して、修得した専門分野に応じて、博士（経営学）または博士（経済学）の学位を授けます。

修士および博士の学位には、最先端の研究者として、あるいは高度な知識をもった職業人として、将来、大きな成果をあげてほしいという期待を込めています。

○最先端かつ高度な専門性と深い学識

- ・世界に通用する経営学の先端知識を体系的に習得している
- ・論理的に思考する能力をもっている

○高度な教養

- ・人間社会および自然界に関する高度な教養を身につけている

○高度な国際性

- ・自国の経済・経営問題だけでなくグローバルな諸問題にも関心をもっている
- ・日本人および外国人と心を開いて対話するコミュニケーション能力がある

○高度なデザイン力

- ・未解決の問題に対して、解決までの道筋を自らのアイデアで作りに上げていくデザイン力を備えている

○独自の学習目標

- ・専門知識にもとづいて現実の経済・経営問題を理解する方法を習得している
- ・自分の考えや意見を論理的に、そして説得力をもって話したり書いたりする能力を身につけている

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学および経済学研究科のカリキュラム・ポリシーを受け、学位プログラム「経営学系」は以下のように多様で体系的なカリキュラムを用意しています。博士前期課程では、経営研究コース、ビジネスコースを設置しています。経営研究コースでは、特定の分野についての深い知識を持ち、自主的に研究を行える人材を養成するカリキュラムとなっています。ビジネスコースでは、ビジネス分野において求められる高度な専門知識を備えた職業人を養成するカリキュラムとなっています。また、工学研究科と連携したカリキュラムも提供し、技術の知識をもった経営者および経営の知識をもった技術者を養成します。

博士後期課程では、前期課程で身につけた知識と思考力をさらに発展させ、教員の指導のもとで学術雑誌に掲載可能な質の高い研究論文を作成し、それらを学位論文としてまとめていくことに重点が置かれます。最先端の専門論文や専門書を読み、独創性のある研究成果を積極的に海外へ発信することを推奨しており、論文を英語で執筆して国際学会で報告し、国内外の査読付き学術雑誌に論文を投稿し、学位論文の完成につなげていきます。

また、博士前期課程・後期課程を通じて海外の大学院で勉強するための、サポート体制も充実しています。

<教育課程編成の考え方>

- ・経営学の専門知識を実践に応用する上で必要となる高度で幅広い教養を身につけます。
- ・グローバル化する経済の中でリーダーシップを発揮するために必要となるコミュニケーション能力を身につけます。
- ・経営学の基礎を学び、より専門的な科目を履修し、経済・社会現象を理論的、実証的、歴史的にとらえるための高度な専門知識と思考法を学びます。さらに、現在の経済や企業が直面する問題や最先端の研究成果を学びます。
- ・経営学の知識と思考法を駆使しながら、問題解決のための研究能力またはデザイン力を養います。

<学修内容及び学修方法>

経営研究コースは、経営学、会計学、経営科学、マーケティング、ファイナンスなどの分野がありますが、それぞれについて研究者に必要な基礎知識を学び、教員の指導のもとで最先端の研究成果をもとにする学位論文の完成を目指すという、研究者養成を主眼とする教育を実施するカリキュラムになっています。

ビジネスコースでも、経営学、会計学、経営科学、マーケティング、ファイナンスなどに関する高度な専門知識を習得し、得られた知識や思考法を用いて特定の課題についての研究を完成していくことのできるカリキュラムとなっています。

また、グローバル化に対応し、英語による授業も行っています。経済学専攻科目や大学院横断

教育科目などを履修することによって、高度な教養力も身につけることもできます。学位論文や課題研究を通じて、問題を発見し、最先端の知識を用いて解決していくデザイン力、および指導教員や学友との対話を通じて知見を深めていくコミュニケーション能力を養うことができます。

博士後期課程では、博士論文の完成をめざし、セミナーや個人指導を通じて個々の課題研究の遂行にあたって助言します。

<学修成果の評価方法>

学修の成果について、博士前期課程の講義科目では、シラバスに記載されている学習目標を、試験、課題、レポート、報告の内容、参加の姿勢などによって総合的に評価します。学位論文や課題研究につながる研究指導では、報告や議論の内容などによって評価します。

博士後期課程の講義科目や研究指導も、博士前期課程と同様の方法によって評価します。

経営学系専攻専門教育科目

経済学専攻、他研究科専門教育科目等

ディプロマ・ポリシーの学習目標	教育目標					1年				2年			
	専門性と深い学識	最先端かつ行動な高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	独自の教育目標	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
(1)世界に通用する経営学の先端知識を体系的に習得している (2)論理的に思考する能力をもっている	○					基本科目				応用科目(高度国際性涵養教育科目)			
(3)人間社会および自然界に関する高度な教養を身につけている		○				高度教養教育科目							
(4)自国の経済問題だけでなくグローバルな諸問題にも関心をもっている (5)日本人および外国人と心を開いて対話するコミュニケーション能力がある			○		基本科目				高度国際性涵養教育科目(応用科目)				
(6)未解決の問題に対して、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を備えている				○	研究指導演習								
(7)専門知識にもとづいて現実の経済・経営問題を理解する方法を習得している (8)自分の考えや意見を論理的に、そして説得力をもって話したり書いたりする能力を身につけている				○	専門教育科目(基本科目、応用科目、研究指導演習)								

経営学系専攻専門教育科目

自由選択

ディプロマ・ポリシーの学習目標	教育目標					1年				2年				3年				
	専門性と深い学識	最先端かつ行動な	高度な教養	高度な国際性	高度なデザイン力	独自の教育目標	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期	春学期	夏学期	秋学期	冬学期
(1)世界に通用する経営学の先端知識を体系的に習得している (2)論理的に思考する能力をもっている	○						専門教育科目(学位論文指導演習を除く)											
(3)人間社会および自然界に関する高度な教養を身につけている		○					自由選択											
(4)自国の経済問題だけでなくグローバルな諸問題にも関心をもっている (5)日本人および外国人と心を開いて対話するコミュニケーション能力がある			○				専門教育科目(学位論文指導演習を除く)											
(6)未解決の問題に対して、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を備えている				○			専門教育科目(学位論文指導演習)											
(7)専門知識にもとづいて現実の経済・経営問題を理解する方法を習得している (8)自分の考えや意見を論理的に、そして説得力をもって話したり書いたりする能力を身につけている					○		専門教育科目(全科目)											